

基本情報

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
時間割コード	0234301401
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山本 孝司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
山本 孝司

詳細情報

授業の目的・到達目標	1) 特別活動の意義、目標及び内容について説明できる。2) 特別活動の指導の在り方について説明できる。 3) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方について説明できる。 (指導計画作成、評価を含む)。
履修上の注意事項	授業には参加的態度で臨むこと。 その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。 事前にテキストを読み、事後には復習をしておくこと。(120分)
評価方法	期末レポート(70%)、毎回授業時に提出するレポート(20%)、発表(10%) フィードバックとして課題レポートに対する解説を次の授業回に行う。
テキスト	(小・中・高)「学習指導要領―特別活動編」、(小・中・高)「学習指導要領―総合的な学習の時間編」を文部科学省HPから各自でダウンロードすること。
参考文献	授業中に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワーク時にICTを駆使した協同的な学びを通して資料作成およびプレゼンテーションを行ってもらう。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学習指導要領における特別活動の目標及び内容	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	
2	教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	
3	学級活動・ホームルーム活動の特質(グループワーク、発表、ディスカッション)	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	
4	児童会・生徒会活動の特質(グループワーク、発表、ディスカッション)	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	
5	クラブ活動の特質(グループワーク、発表、ディスカッション)	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	
6	学校行事の特質(グループワーク、発表、ディスカッション)	・予習・復習については、毎時の授業で指示する(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	教育課程全体における特別活動の指導の在り方	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
8	特別活動における取組の評価・改善活動	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
9	合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義と指導の在り方	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
10	特別活動における家庭・地域住民や関係諸機関との連携の在り方	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
11	「総合的な学習の時間」の意義と教育課程において果たす役割	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
12	学習指導要領における「総合的な学習の時間」の目標	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
13	各教科等と関連させた「総合的な学習の時間」の年間指導計画の作成	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
14	探究的な学習の過程及びそれを実現するための具体的な手立て(グループワーク、発表)	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	
15	総合的な学習の時間における児童及び生徒の学習状況に関する評価の方法及びその留意点	・予習・復習については、毎時の授業で指示する（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

基本情報

科目名	教育方法・情報通信技術活用論
時間割コード	0234301901
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	月 4, 他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	定方 太希
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
森 信之、宮園 博光、定方 太希

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。 2 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 3 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 4 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	1 ペア・グループによるディスカッションに備えて、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加30%，課題提出・発表30%，期末試験40%で評価する。
テキスト	使用しない。（毎回、学習プリント及び資料を配布する）
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	

授業計画

授業計画
前半は、教育における方法論的な立場から、授業設計や指導技術の方法、教育方法の歴史や改革等について学ぶ。また、指導案作成についても学習する。後半は、情報リテラシーや学習指導におけるICTの活用方法の理論及び実際について学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法／教育方法とは何か（定方太希）	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、学習したことに関する ことで、関心を持ったことや、疑問点について資料を集め、まとめる。	
2	よい授業とは何か（定方太希）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
3	カリキュラムの構成要素と学習指導要領（定方太希）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
4	授業設計の方法（定方太希）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
5	基本的な指導技術（定方太希）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
6	学習の成果とその評価（定方太希）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
7	学習指導案の作成（定方太希）	学習指導案の作成要領に従い、自分の指導案を作成する。	
8	学習指導案の相互検討（定方太希）	学習指導案の作成要領に従い、自分の指導案を作成する。	

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、授業設計や指導技術の方法、教育方法の歴史や改革等について学ぶ。また、指導案作成についても学習する。後半は、情報リテラシーや学習指導におけるICTの活用方法の理論及び実際について学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	情報活用力（情報リテラシー能力）の学習の実際（森信之）	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、学習したことをまとめる。	
10	情報通信力（情報リテラシー能力）の教育と課題（森信之）	事後学修として、学習したことをまとめる。	
11	技術の発達と社会、教育の変化：新学習指導要領で求められる情報活用能力（宮園博光）	集中講義のため、時間的に、事前・事後学修をすることは難しいので、疑問点や課題を整理する。	
12	教育におけるICTの活用（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
13	各教科におけるICTの活用（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
14	学習環境および校務を支援するテクノロジーの役割（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
15	模擬授業・研究授業における実施と評価（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0234301801
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2024年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
豊永 亨輔、松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいのか説明できる。 本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせ、前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート等20％，試験80％により評価
テキスト	特になし。随時プリントを配布する。
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方－教育相談系の役割と活動－」栗原慎二著 ほんの森出版 2002年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	松崎：養護教諭として公立学校勤務経験、 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワーク

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせ、前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方、教育相談の位置付け、生徒指導と教育相談（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し，さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせ、前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	児童生徒理解の基礎Ⅰ（教育相談の内容、発育発達、疾病等の一般的理解）（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
3	児童生徒理解の基礎Ⅱ（個別的理解とその方法）（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
4	マルチレベルアプローチ（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
5	学級で実施するSST（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
6	状態のアセスメント（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
7	援助資源マップ（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
8	カウンセリングとチーム援助（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせ、前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	認知行動療法（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
10	家族心理学（1）（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
11	家族心理学（2）（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
12	応用行動分析（豊永）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
13	学校における教育相談の担い手（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
14	教育相談の課題について（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
15	教育相談の機関と援助事業、支援ネットワークについて（松崎）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	